

袖ヶ浦市 財政状況

～ 令和4年度下半期における予算の執行状況 ～

令和5年5月1日

袖ヶ浦市 財政部 財政課

目 次

I	はじめに	・・・	2 ページ
II	収入及び支出の概況	・・・	3 ページ
III	市民の負担の状況	・・・	7 ページ
IV	公営企業会計の経理の概況	・・・	8 ページ
V	財産、公債及び一時借入金の現在高	・・・	9 ページ

I はじめに

この書類は、地方自治法第243条の3及び袖ヶ浦市財政状況の公表に関する条例の規定に基づき、令和4年度予算について、令和5年3月31日現在の収入及び支出の状況、財産や公債の残高の状況等について、公表するために作成したものです。

地方自治法 抜粋
(財政状況の公表等)

第二百四十三条の三 普通地方公共団体の長は、条例の定めるところにより、毎年二回以上歳入歳出予算の執行状況並びに財産、地方債及び一時借入金の現在高その他財政に関する事項を住民に公表しなければならない。

※表示単位について

- 金額については見やすさ、分かりやすさを重視し、本文中の各表、各グラフについては、それぞれ円単位、千円単位、万円単位のいずれかで表記しています。
- 表記未満の端数については、原則として項目ごとに四捨五入処理しているため、合計額・差引額欄の数値と、各項目数値の合計・差し引きが一致しない場合があります。

Ⅱ 収入及び支出の概況

1 一般会計及び特別会計

(1) 予算の状況

令和5年3月31日現在の一般会計と特別会計における令和4年度予算額は次のとおりです。

会計名	当初予算額	補正予算額	予算現額
一般会計	282億3,000万円	18億4,992万円	300億7,992万円
特別会計	116億5,300万円	▲6,594万円	115億8,706万円
国民健康保険	62億4,800万円	79万円	62億4,879万円
後期高齢者医療	7億9,600万円	▲2,007万円	7億7,593万円
介護保険	46億900万円	▲4,666万円	45億6,234万円

一般会計・・・ 地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。

特別会計・・・ 特定の目的のために設けられた会計をいいます。袖ヶ浦市では3会計が法律または条例で設置されています。

補正予算・・・ 予算の編成後に生じた理由によって、既決予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立します。

(2) 歳入歳出の執行状況等

【一般会計】

令和4年度の一般会計予算は、282億3,000万円で成立後、10回の補正予算を組み、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費などを含む18億4,992万4千円を増額して、総額を300億7,992万4千円とし、当初予算から6.6%の増となりました。

令和5年3月31日における執行状況は、収入済額で270億8,581万円、予算に対する収入割合で90.0%、支出済額で256億9,642万円、予算に対する支出割合で85.4%となっています。

なお、令和4年度予算の収入・支出は、出納整理のため令和5年5月31日まで引き続き行われます。

<主な補正内容>

一般会計補正予算で行った主な事業は、次のとおりです。

○補正増

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業	3億4,588万円増
財政調整基金積立金	2億6,997万円増
庁舎整備事業【継続費】	2億5,660万円増
非課税世帯臨時特別給付金事業	2億4,568万円増
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億5,958万円増

○補正減

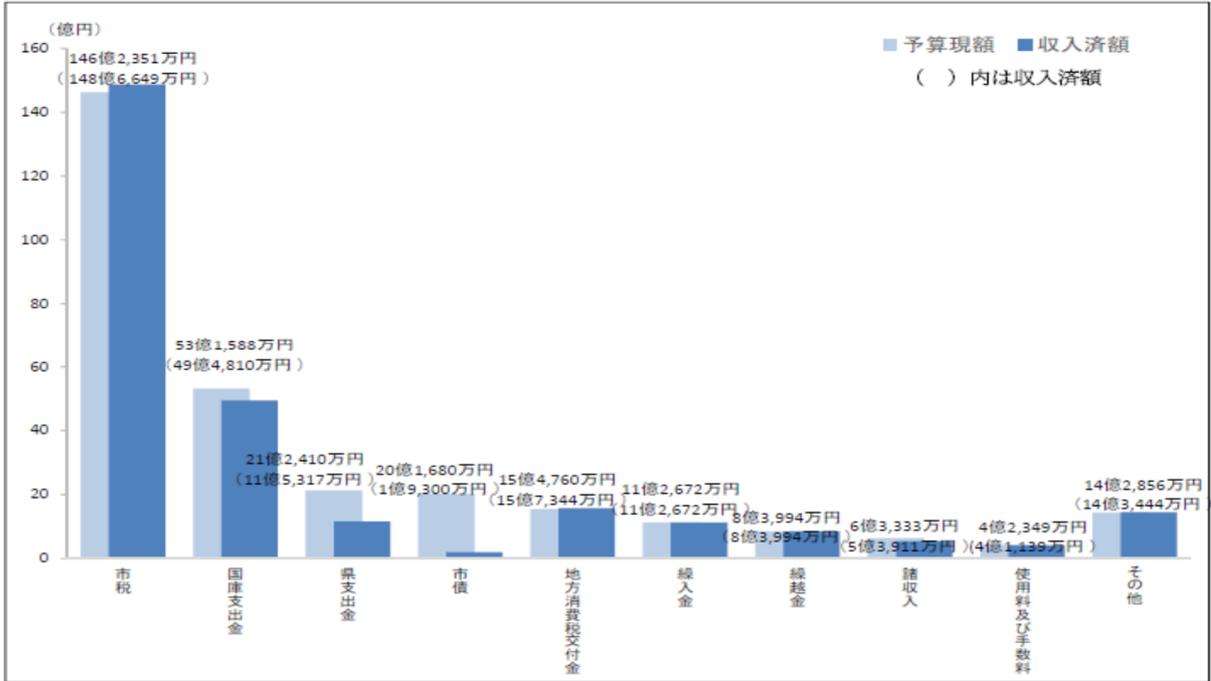
行政情報化推進事業	4,860万円減
介護給付費等支給事業	4,742万円減
消防用車両購入事業	4,494万円減
小学校環境整備事業	3,896万円減
庁舎管理費	2,465万円減

<執行状況>

歳入

予算現額 300億7,992万円 収入済額 270億8,581万円

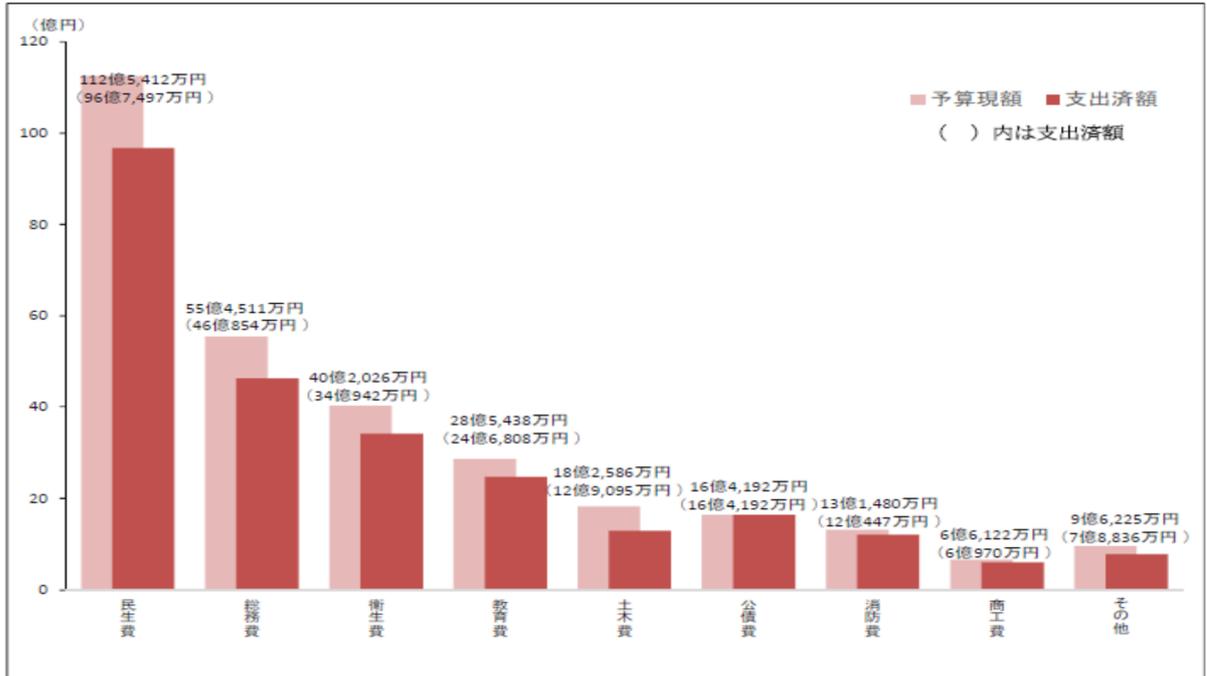
収入率 90.0%



歳出

予算現額 300億7,992万円 支出済額 256億9,642万円

執行率 85.4%



※金額は原則として1万円未満を四捨五入しています。このため、計算の積み上げと合計が一致しない場合があります。

【特別会計】

3つの特別会計の総予算は、当初116億5,300万円で成立後、補正予算で6,594万円の減額を行い、予算現額は115億8,706万円となっています。

各特別会計の令和5年3月31日における執行状況等は、次のとおりです。

<執行状況>

特別会計	予算現額	収入済額 (収入割合)	支出済額 (支出割合)
国民健康保険	62億4,879万円	56億9,248万円 (91.1%)	57億9,872万円 (92.8%)
後期高齢者医療	7億7,593万円	6億4,831万円 (83.6%)	5億7,174万円 (73.7%)
介護保険	45億6,234万円	41億4,060万円 (90.8%)	40億7,591万円 (89.3%)

<主な補正内容>

特別会計補正予算で行った主な事業は、次のとおりです。

○国民健康保険特別会計

国保事務費	1,321万円増
特定健康診査等事業費	1,076万円減

○後期高齢者医療保険特別会計

一般職人件費	17万円増
後期高齢者医療広域連合納付金	1,776万円減

○介護保険特別会計

地域支援事業費国庫支出金等返還金	1,477万円増
介護予防サービス等諸費	1,526万円減

Ⅲ 市民の負担の状況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の48.6%を占めています。令和5年3月末の予算額で見ますと、市税の予算現額は146億2,350万5千円となっています。これを令和5年3月末の住基人口及び世帯数で割りますと、市民1人あたり222,319円、1世帯あたり499,505円の負担となります。

区 分	予算現額	構成比%	予算現額負担状況	
			1人当たり	1世帯当たり
市民税	51億3,485万円	35.1	78,065円	175,395円
固定資産税	81億9,723万円	56.1	124,621円	279,998円
軽自動車税	1億9,713万円	1.3	2,997円	6,733円
市たばこ税	5億2,000万円	3.6	7,905円	17,762円
都市計画税	5億6,985万円	3.9	8,663円	19,465円
入湯税	445万円	0.0	68円	152円
合 計	146億2,351万円	100.0	222,319円	499,505円
総人口	65,777 人		(令和5年3月31日現在)	
世帯数	29,276 世帯			

また、歳出予算における目的別経費で見ますと、歳出合計の市民1人あたりの金額は457,302円、1世帯あたり1,027,460円となっています。なお、目的別経費と市税負担額の差額は、国庫支出金や市債等の市税以外の歳入で対応しています。

区 分	予算現額	構成比%	予算現額負担状況	
			1人当たり	1世帯当たり
民生費	112億5,412万円	37.4	171,095円	384,414円
商工費	6億6,122万円	2.2	10,052円	22,586円
総務費	55億4,511万円	18.4	84,302円	189,408円
教育費	28億5,438万円	9.5	43,395円	97,499円
衛生費	40億2,026万円	13.4	61,120円	137,323円
土木費	18億2,586万円	6.1	27,758円	62,367円
公債費	16億4,192万円	5.5	24,962円	56,084円
消防費	13億1,480万円	4.4	19,989円	44,910円
農林水産業費	6億1,102万円	2.0	9,289円	20,871円
その他	3億5,123万円	1.2	5,340円	11,997円
合 計	300億7,992万円	100.0	457,302円	1,027,460円
総人口	65,777人		(令和5年3月31日現在)	
世帯数	29,276世帯			

IV 公営企業会計の経理の概況

【下水道事業会計】

(1) 予算の状況

令和5年3月31日現在の下水道事業会計における令和4年度予算額は次のとおりです。

会 計 名		当初予算額	補正予算額	予算現額
下水道事業会計	収 入	21億6,600万円	8,256万円	22億4,856万円
	支 出	25億200万円	1億3,017万円	26億3,217万円
収益的収支	収 入	17億5,900万円	4,529万円	18億429万円
	支 出	15億9,000万円	8,190万円	16億7,190万円
資本的収支	収 入	4億700万円	3,727万円	4億4,427万円
	支 出	9億1,200万円	4,827万円	9億6,027万円

(2) 歳入歳出の執行状況

下水道事業会計の予算執行状況は次のとおりです。

なお、表に使われている収益的収支とは、経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

区分		予算現額	収入・支出済額 (収入・支出割合)
収益的収支	収入	18億429万円	18億537万円 (100.1%)
	支出	16億7,190万円	15億9,701万円 (95.5%)
資本的収支	収入	4億4,427万円	3億3,336万円 (75.0%)
	支出	9億6,027万円	8億4,067万円 (87.5%)

V 財産、公債及び一時借入金の現在高

(1) 財産の状況

市が所有している土地、建物、車輛の状況は次のとおりです。

区 分	面 積 ・ 台 数
土 地	2,518,858㎡
建 物	197,415㎡
車 輜	171台

(2) 基金の状況

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。その中で「財政調整基金」とは、不況による大幅な税収減や災害の発生による思わぬ支出など、予期できない収入減少や支出増加に対応するため、余裕のある年度に資金を積み立て、資金が不足する年度に取り崩して、財源に充てるものです。

基 金 の 種 類	基 金 残 高
一 般 会 計	45億3,482万円
財政調整基金	27億4,346万円
その他基金	17億9,136万円
特 別 会 計	10億6,573万円
合 計	56億55万円

(3) 市債及び一時借入金の状況

学校、公園、清掃施設など大規模な建設事業は、その年度の財源のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債（公債）といいます。これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、また、市債を活用することによって、インフラや公共施設の早急な整備も可能となります。

会 計	市 債 残 高
一 般 会 計	147億2,525万円
下 水 道 事 業 会 計	54億9,069万円

※一時借入金の残高はありません。

※一時借入金とは、地方公共団体における収入と支出の時的なずれにより、会計年度において歳計現金に不足を生ずる場合において、その不足を補うためにする金融機関等からの借入金をいいます。